

## デザイン史

単位数	学年・クラス	使用教科書（出版社）	指導者
2単位	3年デザインコース	デザイン史（実教出版）	デザインコース教員

### 教科・科目の目標

工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意識や役割を理解させるとともに、環境に配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。  
造形とデザインの歴史を理解させ、実際に創造し鑑賞する能力と態度を育てる。

評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	デザインの歴史に関する基本的な事柄に関心を持ち、主体的に作品を創造し鑑賞しようとする意欲・態度を身に付けている。	デザインの歴史に関する事物を通し、広い視野を得て思考を深め、自己の作品を工夫改善したり、作品に接したときに適切な評価判断をする能力を身に付けている。	作品を鑑賞する正しい態度を身に付け、その内容を適切に表現する方法を習得している。また自らの作品を制作する基礎的な技能や技術を身に付けている。	デザインの歴史に関する基本的な知識を身につけるとともに、産業におけるデザインの役割や現代社会への影響を理解している。
評価方法	授業中の発問に対する応答 出席状況 学習態度 ノート・提出課題 定期的なプリント 小テスト	授業中の発問に対する応答 ノート 定期的なプリント 小テスト 定期試験	学習状況 ノート・提出課題 定期的なプリント 小テスト 定期試験	授業中の発問に対する応答 授業中の演習問題に対する解析の仕方 ノート・提出課題 定期的なプリント 小テスト 定期試験

到達目標に向けての具体的な取組  【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	これから学ぶ専門科目や実習等で活用ができる基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けさせる。 課題解決的な内容を取り入れ、自ら考える機会を多くする。 放課後や家庭での学習に発展できるよう、適切な課題を与え、学ぶ習慣を身に付けさせる。 個人内評価が適切にできるように、授業外での自主的な学習活動等も評価に含める。 目標に達しない生徒には、計画的に補習を実施し、学力の確実な定着を図る。
---	---

月	単元名	単元の目標	単元ごとの評価規準	評価観点
4 ～ 7	日本のデザイン	日本の建造物や造形作品の様式を知り、各様式の特徴や時代背景を理解する。  日本の建造物や造形作品を鑑賞し評価する態度を身に付ける。	関心・意欲・態度 日本の建造物や造形作品に関心を持ち、それらの制作方法や技法、製造の背景を知り、適切に鑑賞、評価しようとする。自らの作品の制作上の課題を解決するために必要な方法を考えようとする。	
			思考・判断 日本の建造物や造形作品の創造過程やその背景に思いを巡らせ、自らの作品の制作方法を工夫改善するとともに、作品に接したときに適切な評価判断をする能力を身に付けている。	
			技能・表現 日本の建造物や造形作品を鑑賞する態度を身に付け、その内容を適切に表現する言葉や手段を習得している。また自らの作品を制作する基礎的な技能や技術を身に付けている。	

			知識・理解	日本の建造物や造形作品についての基礎的基本的な知識を身に付けるとともに、明治以後の工業におけるデザインの役割や現代社会への影響を理解している。	
8 ~ 12	西洋のデザイン	西洋の建造物や造形作品の様式を知り、各様式の特徴や時代背景を理解する。  西洋の建造物や造形作品を鑑賞する正しい態度を身に付ける。	関心・意欲・態度	西洋の建造物や造形作品に関心を持ち、それらの製造方法や技法、製造の背景を知り、適切に鑑賞、評価しようとする。自らの作品の制作上の課題を解決するために必要な方法を考えようとする。	
			思考・判断	西洋の建造物や造形作品の創造過程やその背景に思いを巡らせ、自らの作品の制作方法を工夫改善するとともに、作品に接したときに適切な評価判断をする能力を身に付けている。	
			技能・表現	西洋の建造物や造形作品を鑑賞する態度を身に付け、その内容を適切に表現する言葉や手段を習得している。また自らの作品を制作する基礎的な技能や技術を身に付けている。	
			知識・理解	西洋の建造物や造形作品についての基礎的基本的な知識を身に付けるとともに、産業革命以後の工業におけるデザインの役割や現代社会への影響を理解している。	
1 ~ 2	現代のデザイン	工業製品、広告作品等の作品に接したときに適切な評価判断ができる。  工業におけるデザインの役割や現代社会への影響を理解し、新しいものを創り出す望ましい態度を身に付ける。	関心・意欲・態度	第2次大戦後から現代にいたるデザインの歴史に関心を持ち、建築物や工業製品の創造の過程、技法、背景を知り、またそれらを適切に評価し、デザインの諸問題を解決しようとする意欲・態度が身に付いている。	
			思考・判断	第2次大戦後から現代にいたるデザインの諸問題を理解し、解決を目指して思考を深めようとする。自らの作品制作への手がかりとする為に作品に接したときに適切な評価判断をする能力を身に付けている。	
			技能・表現	第2次大戦後から現代にいたる広告媒体や建築物、工業製品を評価しその内容を表現する方法や手段を身に付けている。また自らの作品を制作する技法や、表現方法を工夫・改善する基礎的な技能を習得している。	
			知識・理解	第2次大戦後から現代にいたる広告媒体や建築物、工業製品のデザインに関する基礎的な知識を身に付けるとともに、社会におけるデザイン、生産技術の役割や工業製品の現代社会への影響を理解している。	